

小中一貫教育実践校

大泉西中学校・大泉第三小学校・大泉第四小学校・大泉西小学校

中学校区の特徴

- ・豊かな自然の中で、明るく素直な児童生徒が育っている。
- ・保護者も学校の教育に理解を示し協力的である。
- ・地域の方々の学校への関心も高く、地域全体で児童生徒を育てようとする雰囲気がある。

目指す児童生徒像

- ・めあてをもち、自ら考え学び続ける児童生徒
- ・友達と仲良く関わり、きまりを守る児童生徒

I 小中一貫教育の推進

1 目指す児童生徒像の具現化に向けた取組

(1) 学力・体力の向上

- ・小学校では、問題解決型学習を定着させるために、ノートを見開きで「問題」「予想」「方法」「結果」「考察」「まとめ」が書けるように形式を統一し、指導している。中学校ではレポートの中で考察を書くことを通して、生徒の考える力を伸ばしていくことができるように指導している。(理科班)
- ・小学校の外国語活動では5年生の1月からフォニックスを導入。毎時間、授業の始めにフォニックスの歌を歌う。6年生では、歌に加えて、アルファベットを1文字から2文字ずつの発音をしたり、VTR教材やワークシートで学習したりしている。(英語・外国語班)
- ・小中学校共通で授業で振り返りシートなどを活用し、学習内容の定着を図ると共に、児童生徒がどこまで理解できているかを教員が把握し、指導に生かすようにしている。(授業と学習班)

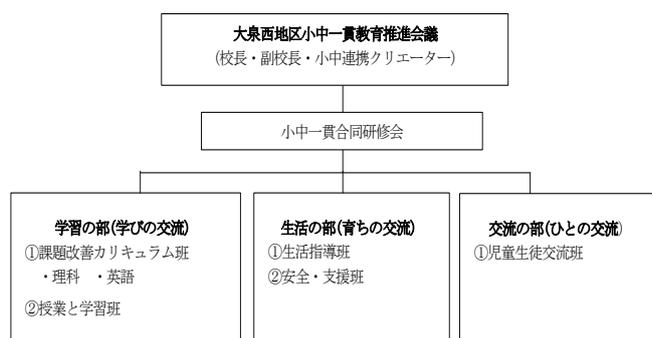
(2) 豊かな人間性・社会性の育成

- ・各校の実態に応じて、朝読書(通年・読書旬間)など読書の習慣を身に付ける活動を行っている。(授業と学習班)

(3) 安定した学校生活

- ・生活のきまりとして「大泉の子のきまり」を作成し、4校共通理解の下で児童生徒の指導にあたっている。また、保護者・地域の理解と協力の下、三者が一体となって大泉西中学校区の児童生徒の健全育成を図るようにしている。(生活指導班)
- ・中学校入学前に特別な配慮を要する児童について事例シートを作成し、情報交換を行い、対応を検討している。(安全・支援班)
- ・校区別協議会にて、事例シート該当生徒の入学後の様子を報告している。(安全・支援班)
- ・オープンスクール、部活動体験、出前学校紹介などを通して、中学校生活へのイメージをつかませる。(児童生徒交流班)

2 教育プラン推進のための推進組織



主な予定(年間計画)

- ・チーフ会議(6/9 10/4)
- ・校区別協議会(6/24 11/17)
- ・部活動体験・見学(夏季休業中10/8)
- ・出張授業(11/17)
- ・出前学校紹介、オープンスクール(2月)
- ・新入生到達テスト(2月)